2014年6月27日／朝日新聞

西宮市OBに餞別　防犯協会が退職時116万円
市議会　実質、退職金と指摘

　防犯灯の維持管理などを担い、西宮市から補助金を受けている｢西宮防犯協会｣が、市から再就職した専務理事の退職時に｢餞別金｣として116万円を支払っていたことがわかった。協会は適正な支出としているが、市の慣例では、職員OBが補助金交付団体に再就職した場合、｢退職金｣は受け取らないことになっていたという。

　26日の市議会で「餞別金は実質的な退職金で不適切だ」と指摘する質問があった。今村岳司市長は｢大変遺憾。市民から疑念をもたれないよう協会に厳重に申し入れる｣と答えた。
　防犯協会によると、この専務理事は2006年3月に市を定年退職した元部長級の職員。同4月から協会の常勤になり、13年3月に退職した。市からの再就職者には退職金を支出しない、とする協会の内規があるが、116万円は別名目の「退職餞別金」だった、としている。

　防犯協会の担当者は取材に「7年間の功績をふまえ、理事会が承認し、餞別金を支出した。独自の財源でまかない、補助金は使っていない。適正な支出だった」と話した。

　市によると、西宮防犯協会には12年度に約8千万円、13年度に約8400万円の補助金を交付している。（半田尚子）

2014年6月27日／神戸新聞

西宮防犯協会退職時　市職員OBに餞別金116万円

　西宮市の元環境総括室長（68）が2013年3月、再就職先の西宮防犯協会を退職する際、｢餞別金｣として116万円を受け取っていたことが26日、分かった。同市では｢市の補助金交付団体に再就職した場合、退職金は受け取らない｣という慣例がある。同日の市会定例会で議員から「実質的な退職金」と指摘された今村岳司市長は｢大変遺憾｣と答え、同協会に申し入れる意向を示した。

　元室長は06年3月、市を退職。約3千万円の退職金を受け取り、同年4月から同協会専務理事を務めた。同市は毎年度、同協会に補助金（12年度は約7980万円）を支出している。同市によると、餞別金の財源は同協会の独自財源で、総会の容認を得て支出されたという。（斉藤絵美）

2014年6月27日／産経新聞

元市職員に実質的退職金

西宮防犯協会に再就職

　西宮市の元部長級職員の男性（68）が再就職先の西宮防犯協会を退職した際、実質的な退職金として約116万円を受け取っていたことが26日、分かった。市の慣例では、補助金交付団体に再就職した場合、「退職金を受け取らない」としている。

　男性は平成18年3月に市を定年退職。その際、退職金約3千万円が支払われた。男性は翌月から同協会に専務理事として再就職し、25年3月に退職。同協会は、退職餞別金として約116万円を支給した。

　市は同協会が実施する防犯灯の維持管理や地域安全対策事業に対して補助金を交付しており、24年度の補助額は約8千万円。

　同協会は市に対し、｢内規に基づいて理事会が決定し、総会の承認を得て支出した｣と説明。退職餞別金には補助金ではなく、独自の財源を充てたという。

　今村岳司市長は26日の市議会一般質問で、退職餞別金の支給を「大変遺憾」としたうえで、「市民から疑念を持たれることのないよう、同協会には厳重に申し入れる」と答弁した。

2014年6月28日／毎日新聞

市職員OBに｢餞別金｣116万円

西宮防犯協会

　防犯灯の設置などを行い、西宮市の補助金を受けている｢西宮防犯協会｣に再就職した市職員OBが、退職時に｢餞別金｣として約116万円を受け取っていたことが分かった。市の補助金交付団体に市職員OBが再就職した場合、市の慣例で退職金は受け取らないことになっている。市は協会に対し｢退職金と受け取られるような額の餞別をやめるよう申し入れる｣という。

　26日の市議会一般質問で｢実質的な退職金で、極めて不適切な支出だ｣と市議から批判があった。今村岳司市長は｢大変遺憾。市民から疑念を持たれることの無いよう、協会には厳重に申し入れる｣と述べた。協会の担当者は｢理事会で承認しており、適正な支出。自主財源から支払っており、補助金は使っていない。市の申し入れの後、対応を考える｣と話している。（柳楽未来）

2014年6月27日／読売新聞

OBに餞別しない　防犯協に申し入れ

　西宮市は26日、西宮防犯協会に対し、再就職した市職員OBが協会を退職する際、「餞別」などの名目で金銭を渡さないよう申し入れることを明らかにした。

　市は協会に年間約7900万円の補助金を支給。協会を巡っては2006年、市OBに支払われた退職金が「公務員の退職金二重取り」にあたるかが問題となった。協会はその後、市OBに退職金を支給しないとする内規を定めていた。

　しかし、協会を昨年3月に退職した市OBが116万円の餞別金を受け取っていたことが判明。市は「市民に疑念を持たれかねない」として、協会に名目を問わず金銭を支給しないよう求めることにしたという。